

くすのき

《題字》
筆耕同好会 山村 加代書

30周年記念号



和泉市の南方に位置する横尾山施福寺。西国三十三ヶ所の第四番札所として、今も広く人々の信仰を集め天台宗の寺院である。時代を遡れば、行基や弘法大師も修行したと伝えられている。

参道の入口に、落差五十mの雄大な一枚岩の満願の滝を横目に、足を踏み入れる。山腹に構える山門をぬけると、一気に自然豊かで素朴な景観を見せる。自生するしゃが（著莪）の群生や頭上の木みじ、そして巨木や巨岩の間をぬって傾斜のきつい石段を進む。山合いからもれる太陽の光を感じると、ようやく山頂近く、重厚な本殿が迎えてくれる。達成感と清らかな静寂が、疲れた身体を優しく包んでくれる。

時の流れを感じない、まさに和泉の郷の奥座敷である。（坂本）



横尾山施福寺山門



しゃが

和泉の郷 再発見！

設立三十周年を迎えて

公益社団法人 和泉市シルバー人材センター

理事長 油谷 巧



皆様、こんにちは。皆様方には、日々お元気でご活躍のこととご推察申し上げます。

和泉市シルバー人材センターは、昭和五十七年七月一日に発足し、お蔭をもちまして平成二十四年七月一日で設立三十周年を迎えることができました。これもひとえに会員皆様の日々の弛まぬご努力と、行政はじめ関係諸機関の変わらぬご支援・ご協力の賜と感謝申し上げる次第でございます。

また、和泉市シルバー人材センターは、本年四月一日付けで「社団法人」から、公益性と社会的貢献が今まで以上に求められる「公益社団法人」に移行いたしました。一度に大きな節目を二つ立て続けに迎えたことになります。

顧みますと、和泉市シルバー人材センターは設立当初、会員数一六九名で発足したと聞き及んでいますが、平成二十四年五月末現在で十倍以上に増加・発展し、一、八〇五名を数えるに至りました。

この間、平成に入りバブル崩壊による好況から不況への突入、平成二十年九月のリーマン・ショック、平成二十三年三月に発生した東日本大震災と福島第一原発の大事故、欧州のユーロ危機などが発生し、これらのことがシルバー事業を通じた多くの会員の就業機会に、直接・間接的にマイナス要因となつて影響して來ているのではないかと思っています。

これらの厳しい経済状況の中で、国の財源捻出のために、度重なる「行政刷新会議」が開催された結果、シルバー人材センターに対する国庫補助金が大幅に縮減され、非常に厳しい事業運営が強いられる状況となっています。

しかし、日本は、将来に向けて少子高齢化が急激に進展することから、元気で就業意欲のある多くの高齢者が社会・経済活動に加わり、社会貢献を果たしていくことは、地域の活性化に非常に重要な問題であると考えています。

「自主・自立」「共働・共助」の理念のもと、多くの会員がシルバー事業を通じて、就業機会に恵まれ、日々の生活において充実感とハリを感じられるよう、和泉市シルバー人材センターのさらなる充実と発展を目指してまいります。

結びに、今後とも発注者の皆様のより一層のご支援・ご協力を賜りますとともに、役員、会員及び関係者の皆様の益々のご健勝、ご多幸、ご活躍をご祈念し、ごあいさつといたします。



大阪府立 弥生文化博物館



池上曾根史跡公園



和泉シティプラザ

THE 30TH ANNIVERSARY

シルバー人材センター設立三十周年を祝して

和泉市長 辻 宏康



和泉市シルバー人材センターが設立三十周年を迎えるにあたり、一言お祝いを申し上げます。油谷理事長さんをはじめ、役員・会員の皆様方には平素から市勢の発展に格段のご尽力をいたしておりますことに、心より敬意と感謝の意を表したいと存じます。

社団法人として昭和五十七年七月に「和泉市シルバー人材センター」が発足して以来、はや三十年が経過し、現在一、八〇五名の会員の方がご活躍されています。

この三十年間、歴代理事長さんや役員の方々、会員の皆様方のご努力、ご研鑽の賜物として、会員登録数に留まらず事業実績等着実にすばらしい功績を認められていることに、改めて敬意を表する次第でございます。

また、本年四月一日からは新しいシルバー人材センターのスタートとも言える公益社団法人としての活動もはじまり、これまでにも増してご活躍が期待されています。

私たちを取り巻く社会環境はめまぐるしく変化し、特に少子高齢化は留まることなく、団塊の世代が六十五歳を迎え、今後ますます高齢化率がうなぎのぼりに上昇して行くものと予想されます。

このような状況であっても、シルバー人材センターの皆様には、この三十年間に蓄積された知識・経験を活かし、仲間の皆様とともに「自主・自立」「共働・共助」の理念のもと、「ともに働き・ともにたのしむ地域の輪」を一層広げていただき、さらなるご活躍を期待しております。

結びに、「和泉市シルバー人材センター」のますますのご発展、併せて皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

公益社団法人 和泉市シルバー人材センター

記念誌の発行を祝して

和泉市議会議長 着本 直幸



和泉市シルバー人材センターが設立三十周年を迎えるにあたり、一言お祝い申し上げます。

貴センターは、昭和五十七年七月一日に高年齢者の就業を支援し、生きがいの充実や社会参加の推進を図るとともに、高年齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的に発足され、一六九人の会員からの出発であつたと伺つております。

以来、油谷理事長さんをはじめ歴代の理事長さん、会員皆様のご努力、ご研鑽により堅実な発展を遂げられ、現在会員数は千八百人を超える大きな組織となり、事業実績においても着実に積み重ねてこられるとともに、平成二十四年四月一日に、公益法人制度改革に基づく公益認定を受けたことにより、さらに社会的な信用が増し、「公益社団法人」として新たに出発をされました。皆様方の多年にわたるご努力とご功績に敬意を表する次第であります。

さて、わが国の高齢化は世界に類を見ない速さで進展しており、総人口が減少する中にあって、長寿により高齢化率は上昇を続け、平成二十五年には二五・一%を超えて四人に一人、平成四十七年には三三・四%で三人に一人が高齢者になると推計されているところでございます。

このような状況下にあって、高年齢者の果たす役割はますます重要となつており、自らが多年にわたり培つてこられた豊かな経験や知識・技能を携えて、就労の場を見出して社会参加をされますことは、日常の生活にリズムと若々しさを保ち、健康の保持増進につながるとともに、優れた技量を地域社会に還元していただくことになつてございます。

貴センターにおかれましては、今後もこうした地域で必要とされるさまざまニーズに応えながら、ご活躍をされることをご期待申し上げますとともに、公益社団法人和泉市シルバー人材センターのますますのご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

設立 30 周年を迎えて



平成24年度 定時総会報告

5月29日(火)、平成24年度定時総会を開催。

公益社団法人へ移行して初の総会。会場は、和泉シティプラザ弥生の風ホール。1、135人(委任状681人含む)の会員が出席。

油谷理事長の開会の挨拶の後、

来賓の辻市長、着本市議会議長の祝辞をいただいた。

今年度は、4月1日に公益社団法人へ移行後、初めての総会。安田会員（山莊町）が議長に選出され、議事が進行された。

議案4件はすべて承認

平成23年度事業報告・決算報告並びに、定款の変更(一部改正)、役員の選任(補充)について承認。

平成24年度の事業計画・収支予算、公益社団法人への移行、配分金規約の一部改正、会員就業規約の一部改正について報告。

『平成24年度 基本方針』

1. 就業機会の拡大及び開拓
2. 普及啓発活動の推進3. 独自事業の推進
4. 会員の意識、知識、技能向上の推進

5. 地域貢献・社会貢献活動の推進

6. 会員の入会促進及び就業機会の推進

7. 安全・適正就業の推進
8. 無料職業紹介事業及び一般労働者派遣事業の推進

9. 市及び関係機関等との連携の強化
10. 公益社団法人への移行に伴う体制等の整備
- 引き続き
- 第19回 会員厚生会総会を開催。**
- 会員厚生会は、「公益社団法人」への移行に伴い解散となりました。同好会は、今後も継続します。
- II 公益社団法人に移行しました!!**
- 昨年度より、移行準備を進めてまいりましたが、去る3月21日に大阪府知事より公益社団法人として認定を受け、4月1日に公益社団法人の設立の登記を完了しました。
- 今後は今まで以上に、健全な財務体質や、公正な組織の運営などが義務づけられ、公益目的事業の展開が求められます。
- 会員の皆さん立場や就業についてほとんど変わりませんが、より地域貢献・社会貢献を進めてまいりますので、ご協力をお願いします。

役員紹介

平成24年度

監事	副理事長	理事長
高橋 日下	定立石 有里	油谷 巧
清治 和正	義夫元義	
(新)	(新)	
高橋 清治 (新)	大森 良右	榮陽
	木寺 正次	
	坂本 修二	
	澤村 朝子	
	高橋 亨	
	谷 昌樹	
	寺西 博文	
	松田 真次	
	三井 久行	
	(新)	

THE 30TH ANNIVERSARY



設立 5 周年記念誌



市立総合福祉社会館に移転

		西暦(元号)												30年のあゆみ・世の中の出来事	
		月													
西暦	元号	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
一九九三年(平成5年)														一九八二年(昭和57年)	7月
一九九二年(平成4年)		3月												社団法人和泉市シルバー人材センター発足(会員169人)	
一九九一年(平成3年)		6月	4月											市立勤労青少年ホーム内に事務局開設	
一九九〇年(平成2年)		9月												社団法人設立、知事認可	
一九八九年(平成元年)			1月											●東京「ティーズ」—「 фонд開園	
一九八七年(昭和62年)				10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月	1月	一九八三年(昭和58年)	4月
														●男女雇用機会均等法公布	一九八四年(昭和59年)
														シルバー会報(創刊号)発行	一九八五年(昭和60年)
														会員一泊研修会実施	一九八六年(昭和61年)
														●日航機事故(520名死)、生存4名	一九八七年(昭和62年)
														地域班(20班)結成	
														シルバー人材センターの法制定化	
														「高年止齢者等の雇用の安定等に関する法律」施行	
														「高年止齢者等の雇用の安定等に関する法律」施行	

30 年 の あ ゆ み



11月 交通安全講習会



11月 日帰り研修会「リニア・鉄道館」



平成23年10月 商工まつり会場

事業活動 フォト

(平成23年10月～平成24年5月)



昭和57年11月号 和泉市広報「いすみ」

シルバー人材センター	
和泉市で設立総会	
和泉市シルバー人材センターの設立など	市商工交販会場で、会員登録者を募る
地域会員登録者を募る	会員登録者を募る
高齢者登録者を募る	会員登録者を募る

昭和57年7月 朝日新聞

THE 30TH ANNIVERSARY



20周年記念式典

絵画教室



シルバー作業所(彩生館内)



広報紙配布準備作業



着物着付け教室



設立20周年記念誌



広報紙用封筒作製



喜寿・米寿お祝い会



設立10周年記念誌

													西暦(元号)		30年のあゆみ・世の中の出来事		
													一九九四年(平成6年)	一九九五年(平成7年)	一九九六年(平成8年)	一九九七年(平成9年)	
3月	2月	1月	10月	8月	3月	3月	2月	5月	4月	4月	3月	4月	12月	5月	1月	9月	
●「愛・地球博覧会」開催	派遣事業和泉市事務所開設	もうつき大会	●「新潟県中越地震」発生	●「パソコン講習会	契約金額6億円突破	●「アテネ五輪	●「イラク戦争	会員数1,500人突破	中・長期計画策定	設立20周年記念式典・第20回通常総会	設立20周年記念誌発行	設立20周年記念式典・第20回通常総会	和泉市広報紙「いすみ」全戸配布業務受託	普及啓発用カレンダー配布	シルバー作業所オープ	●「阪神・淡路大震災」発生	喜寿・米寿お祝い会開催
●消費税5%に引上げ															会員厚生会設立	設立10周年記念誌発行	



THE 30TH ANNIVERSARY



第1回 生き活きフェスティバル



じーばーのお店



子どもの安全まもり隊



こどもまつり(商工まつり)



じーばーのお店 秋祭り



英会話教室



パソコン教室



第3回 シルバーフェスティバル



会報「くすのき」50号発行



洋裁教室



携帯メール講習会



5月 定時総会



5月 定時総会



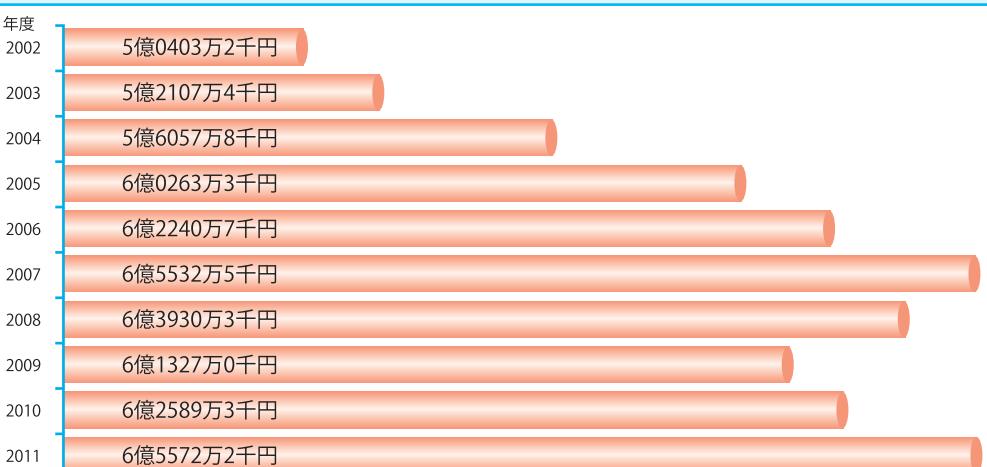
3月 子育てボランティア



2月 高齢期を元気に過ごすための講座

10年間の実績 (平成14年～平成23年)

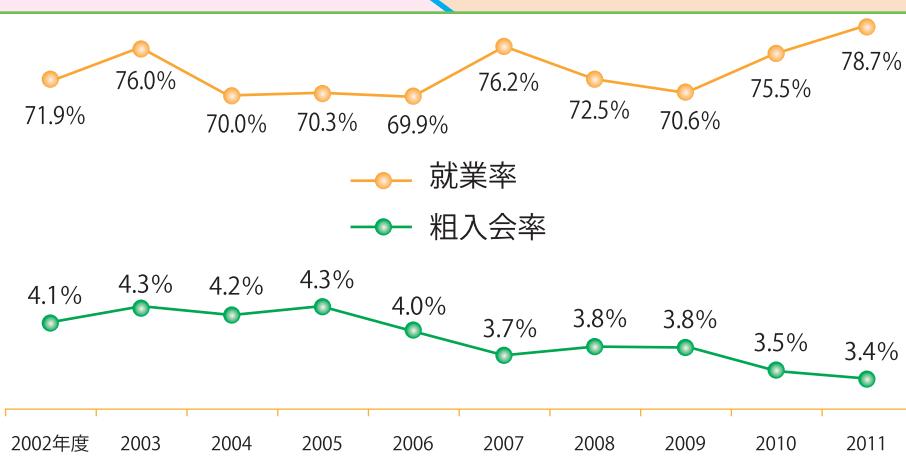
契約高



会員数



就業率・粗入会率 (市の60歳以上の人口に占める会員の割合)



職場探訪

毎日牛乳

(日本酪農協同株式会社)



今回は、小田町にある“毎日牛乳”さん（正式社名は日本酪農協同株式会社）を訪問しました。お話を寺田事務課長、前任者の横道経理課長のおふたりから伺いました。創業は戦後まもない昭和23年3月、岸和田市岡山町で乳牛1頭の飼育から起業し、牛乳を日本人の食生活に普及させようと和泉酪農



牛乳・乳製品の製造販売。製造は近畿工場をはじめ、全国に営業所・支店を有し、それぞれが販売地域を分担しています。

事業内容

畿工場には業務司令本部と中央研究所を置き、実質本社の機能を担っています。従業員数は449名。昭和44年3月には和泉工場（後年、近畿工場に名称変更）を竣工。近畿工場には業務司令本部と中央研究所を置き、実質本社の機能を担っています。従業員数は449名。

業協同組合（日本酪農協同株の前身）を組織されたのが始まりです。昭和28年4月に大阪市浪速区に乳製品総合処理工場を建設、本社の所在地とされました。昭和30年8月に商標を毎日牛乳とされ、昭

和44年3月には和泉工場（後年、近畿工場に名称変更）を竣工。近畿工場には業務司令本部と中央研究所を置き、実質本社の機能を担っています。従業員数は449名。

作業内容は、牛乳・乳飲料のケース（通い函）を洗浄機のベルトコンベアーに載せる作業です。現在は、天野昭一、高橋昭夫、種吉正晃、遠藤勇さんが就業しています。



【取材担当者の感想】

各自担当の、ベルトコンベアートとの会話をしながら、黙々と作業を進めているお二人の仕事ぶりを見てきたし、これからも体に気を付けて続けていきたいです。

【会員の声】

「午前中は長いですが、結構多いです。頑張っていますよ。慣れてきたし、これからも体に気を付けて続けていきたいです。」

最後になりましたが、朝のお忙しい時間帯にもかかわらず、私たちのために貴重な時間を割いてご協力くださいました寺田事務課長と、横道経理課長のおふたりに心からお礼申し上げます。

取材担当（花田・平西）

【発注者の一言】

販売は、量販（スーパーイオンと提携）60%、学校給食20%、宅配等になっています。余談ですがプリンも製造されているとの事。

シルバー会員は男性4名。二人一組でそれぞれ週3日（月・水・金）と（火・木・土）のローテーションで、時間は午前8時30分～午後4時で就業しています。

シルバー会員は男性4名。二人一組でそれぞれ週3日（月・水・金）と（火・木・土）のローテーションで、時間は午前8時30分～午後4時で就業しています。

【シルバー会員の作業内容】

シルバー会員は男性4名。二人一組でそれぞれ週3日（月・水・金）と（火・木・土）のローテーションで、時間は午前8時30分～午後4時で就業しています。

販売は、量販（スーパーイオンと提携）60%、学校給食20%、宅配等になっています。余談ですがプリンも製造しているとの事。

若いう人たちではなかなか務まらないので、シルバー人材センターさんを活用させてもらっています。

ひろば

剣は心なり



光明台 富田 實

ています。そんな頑張りに拍手を送り、これから成長にエールを送る気持ちで、茉里華が使っていた竹刀で作ったミニチュア竹刀を贈りました。

四枚の竹をナイフで少しづつ削って、二ミリ少しの厚さまで削り、四枚の合わせ目を四十五度に調整してピタツと合わせて

写真は、長さ二十七センチのミニチュア竹刀（剣道）です。

これは、実物の古い竹刀を削つて作ったものです。稽古で竹刀を使っているといずれはササクれて使えなくなります。その竹刀のササクしていない部分を利用して削り出すのです。

台座は、はがきサイズの版木を二枚横につないで面と文字を彫りました。面金は一本一本彫りこんであります。

孫の茉里華が小学五年生で剣道を始め、中学校では剣道部に入り、今年卒業するまで泉州地区大会、四市一町大会、和泉市大会で準優勝するなど、予想以上に頑張ってくれました。

そして昨年十一月には、見事二段に合格、女性剣士として着

何事に対しても邪念を捨て、素直に真っ直ぐに取り組んでもらいたい、その心を大切にして欲しいとの願いを込めたものです。

写真は、完成した日のものですが、今は孫の部屋の出窓のところに大事に飾ってくれています。

会員さんと安全就業

大切なこと

- ・仕事を仲間と分かれ合つて仲良く就業する。
- ・安全確保は最優先である。

安全＝自己管理

- ・体調は悪くありませんか。
- ・時間に余裕がありますか。
- ・携帯品は忘れていませんか。
- ・作業や天候にあつた服装をしていますか。
- ・家族などに一声（行き先等）かけて、いざ出発。



仕事と健康は 隣り合わせ



いぶき野
田 桂 子

仕事の大好きな私は、シルバーに入会する迄さまざまな仕事に就きました。怪我、病気の為、何度も変更せざるを得ませんでしたので、定年までずっとひとつの仕事に就かれた方々を立派だなと思います。

子どもが小さい頃は、ブルのコーチを二年間しました。高島屋のパート社員で浮輪と人形売場担当の折は驚く程売れ、自分は営業に向いていると初めて知りました。

男性ばかりで女性二人の機械製図の折は部長につき一か

ら教えて頂き、様々な鉛筆をやすりで研ぎながらデイバイダー片手に計算しつつ、緻密に描いていき、顔を上げる暇もありません。

せん。

九年と一番長い野村證券では、バブルの時から大きく落ち込んだたくさんのお客様を相手に、手腕を問われる時で毎日が大変でした。この頃通勤災害にて松葉杖を二年間つき、もう駄目かと思った時もあります。

五十九歳の時、高校の家政科にて洋裁、和裁の出来る人を求めていると聞き、和裁はできませんでしたが応募し、八人の中で一人採用されました。後で聞きましたが面接時の明るく大きい声が良かつたようです。一番年上でしたが……。

秋にファッショントリートが、その為に三年生はウエディングドレス、二年生は手縫いのゆかた、一年生はフードつきの上下が課題でした。有意義に樂

しく過ごし、ファッショントリートが終わった時は、私にまで生徒が花束と礼状をくれました。

現在は、シルバーで業務委員

と地域班長をしていますが、今まで一生懸命働いてきて、随分

と色んな方のお世話になりましたので、恩返しに少しでもお役に立てたら嬉しいなと思っております。

この四年間、毎朝五時半に起

き、三十分間「宇宙をイメージして洋裁、和裁の出来る人を求めていると聞き、和裁はできませんでしたが応募し、八人の中で一人採用されました。後で聞きましたが面接時の明るく大きい声が良かつたようです。一番年上でしたが……。



自転車の安全利用

ケガをしたときは

仕事の往復時や、就業中にケガをした時や、身体に異常を感じた時はすぐに**119番**に、そして**センターに連絡**しましょう。



- 1、自転車は車道が原則、歩道は例外。
- 2、車道は、左側を通行
- 3、歩道は、歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 4、安全ルールを守る
・飲酒運転、2人乗り、並進の禁止
・夜間はライトを点灯
・交差点での信号遵守と一時停止、安全確認

同好会だより

カラオケ同好会

毎月第一・第三・土曜日
午前九時～十二時

俳句同好会

毎月第一・土曜日
午前十時～十二時

歩こう会

毎月第二日曜日
(雨天の状況で変更あり)

筆耕同好会

毎月第一・第三水曜日
午後一時三十分～四時

ボランティア同好会

毎月第二・第三金曜日
午後一時～四時

ボウリング同好会

毎月第三金曜日
午前九時～十一時

男性調理同好会

偶数月第四土曜日
午前十時二十分

場所 和泉キングボウル

手芸同好会

毎月第二木曜日
午後一時～四時

ゴルフ同好会

随時コンペ開催
毎月

◆ 入会希望の方は、
事務局までお問い合わせください。



平成24年4月 永楽ダムにて（熊取町）

歩こう会

同好会ズームアップ

第一回の歩こう会は、平成六年七月に開催。本年七月例会で丁度一八〇回目を迎えます。毎回親睦を深め、新しい出会いを持ち、楽しく実施しております。

月・九月は休会)に開催。府下や奈良・京都等を歩いています。健康増進をモットーに体験してみてはいかがでしょうか。(会長 今井 勝巳)



寄稿

夏まつり提灯の技
空を舞ふ

蟬しぐれめざましよりも

き、めあり

駒走ヨシ

国難も花は知らずや
咲き誇り

苦勞してミニズ渡るや
秋の道

松田真次

各種教室のご案内

シルバー人材センター会員による
各種教室を開催しております。

- 絵画教室
- 着物着付け教室
- 洋裁教室
- 英会話教室

○ 開催場所

和泉市室堂町六七四一五八
(彩生館内)シルバー作業所

○ お問い合わせ

公益社団法人
和泉市シルバー人材センター
☎ 0725-45-5255

編集後記

和泉市シルバー人材センターは、公益社団法人に移行した今年、設立三十周年を迎え、会報「くすのき」も記念号を発行させていたしました。昭和から平成への激動の中で活動の歴史を辿つて頂ける様に、多くの写真を掲載しました。ご記憶と共に楽しんで頂けたでしょうか。発注者各位への謝意と共に、これからも「共働・共助」による「共働・共助」のための情報提供と交流をめざして、愛される「くすのき」を発行し続けてまいります。

広報委員会一同

【発行】

公益社団法人 和泉市シルバー人材センター
〒594-0071 大阪府和泉市府中町4丁目20-4
TEL 0725-45-5255 FAX 0725-45-5533
HP <http://www.city.izumi.osaka/silver/>
Eメール izumi-sc@cello.ocn.ne.jp

企画・編集 広報委員会
制作・印刷 真和印刷(株)